

おおつひやくちょう

大津百町まちづくりフォーラム

東海道の歴史と文化を発見・発信

日時：平成21年9月6日(日) 14:00～16:00

場所：中央市民センター



14:00～14:40

基調講演 「東海道の歴史とそのにぎわい」

大津市歴史博物館次長 樋爪修氏より、東海道が果たしてきた役割や市民の暮らしとの関係等についてお話しいたします。

14:50～15:10

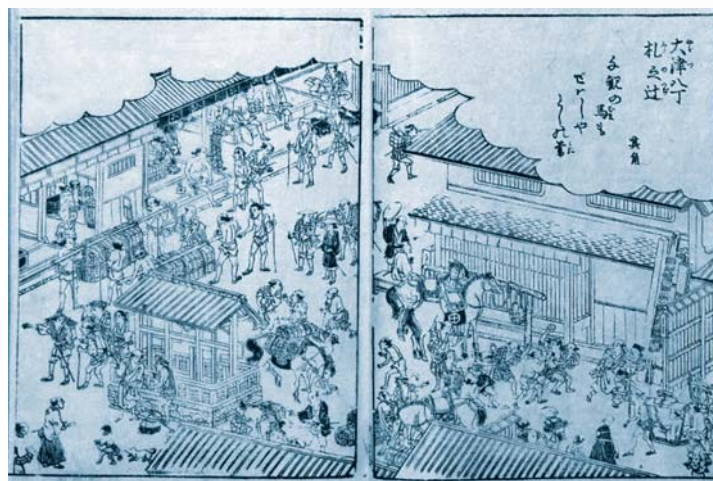
まちづくり懇談会の報告

旧東海道沿いの自治会において8月から9月にかけて行った懇談会の結果について報告します。

15:10～16:00

意見交換会

立命館大学教授 高田昇氏をコーディネーターに迎え、参加者を交えて意見交換をします。



「近江名所図会 札の辻」



・参加費無料(先着 100 名・事前申込の方を優先とします。) ・お申込みとお問い合わせ：大津市都市再生課 TEL.077・528・2501

・主催：大津市 ・協力：NPO法人大津祭曳山連盟

大津市歴史博物館次長 樋爪 修(ひづめ・おさむ)



昭和 27 年(1952)京都市生まれ。
立命館大学大学院を修了後、大津市役所に勤務。昭和 51 年から始まった『新修大津市史』(全 10 巻)の編纂を経て、平成 2 年より大津市歴史博物館学芸員となり、現在に至る。
仕事柄、滋賀や京都の旧街道の探索を行うようになり、『京都の大路小路』(小学館)や『近江の街道』(郷土出版社)など、街道関係の著書の執筆に携わる他、歴史文化に関する各種講座の講師としても活躍する。

立命館大学教授 高田 昇(たかだ・すすむ)



昭和 18 年(1943)大阪市生まれ。
神戸大学工学部建築学科卒業後、宮後建築事務所を経て 1970 年 COM 計画研究所設立。1990 年立命館大学教授に就任。その間、各地のまちづくり事業にプランナー・コンサルタントとして調査、計画、企画・推進、コーディネートの業務にあたる。
主な著書に、『都市再生・街づくり学』(創元社) / 『まちづくりフロンティア』(オール関西) / 『コーポラティブハウスー 21 世紀型の住まいづくり』(学芸出版社) / 『まちづくり実践講座』(学芸出版社)などがある。

本フォーラムの趣旨

■本市の中心市街地は、古くよりびわ湖水運の拠点、東海道と北国海道が交差する交通の要衝であり、その賑わいと歴史・文化の様子は「大津百町(おおつひやくちょう)」と称され、そこには都市としての魅力が表現されていました。■現在も、約 1,600 軒の町家をはじめとした歴史ある建造物や大津祭に代表される伝統文化、また地域のつながりや町内ごとのしきたり、生活文化が継承されており、そこに町衆の心意気とこの地域独特の魅力を知ることができます。■しかし、これらの歴史や文化も、地域住民の高齢化や少子化、地域商業の衰退等、社会情勢の行方によって、これまでのように未来に継承することが容易ではない状況にあるといえま

す。■そこで、これまでも多くの機会において、たくさんの市民の方々によって、大津百町・東海道の歴史や文化の大切さが提唱され続けてきたことを受け、それらを丁寧に読み取りながら、このまちのあり方をみなさんと一緒に考え、一歩先に進めていくため、本フォーラムを開催するものです。■東海道の歴史と文化を今一度見つめ直して、未来に向けて発信すべきこのまちの特徴や、次の世代に残すべき魅力は何であるか、そしてそれらをどのように発信し、伝えていくのか、単なる発掘や発見に終わらない、次のステップに向けた具体的な取り組みや仕組みについて考えていきます。

参加ご希望の方は下記まで事前にお申込みをお願いいたします。

大津市都市再生課 TEL077-528-2501 FAX077-527-8758

	参加される方のお名前	ご連絡先
1		
2		
3		
4		
5		